

オープンソース事情

連載を終わって

大谷 真
湘南工科大学

比屋根一雄
三菱総合研究所

1	オープンソフトウェア (OSS) 発展への期待	桑原 洋
2	オープンソースソフトウェア・センターの設立	田代 秀一
3	OSS コミュニティの日本事情	三浦 広志
4	企業が作るオープンソース	比屋根 一雄
5	OSS 成功事例：Debian	鵜飼 文敏
6	Ruby 成功の秘訣	まつもと ゆきひろ
7	巨大オープンソースプロジェクト — Mozilla Japan の挑戦 —	瀧田 佐登子
8	OSS 人材育成	大谷 真
9	OSS はどこまで使えるのか？	鈴木 友峰
10	普及手段としての OSS プロジェクト	平林 俊一
11	OSS を成功させるには	ひが やすを
12	自由ソフトウェア活動を続ける	g 新部 裕

(敬称略)

図-1 「オープンソース事情」連載一覧

1年間にわたったコラム「オープンソース事情」も今回が最終回となった。

この連載では、日本国内を中心としたオープンソース活動について、いろいろな角度から紹介することを試みた。最初に、企業・政府・コミュニティの国内全体の活動を概観し、個別の開発者・コミュニティの事例として、Debian, Ruby, Mozilla, WideStudio, Seasar の主要コミュニティメンバーに登場していただいた。さらにオープンソースに関する性能評価、人材育成、そしてフリーソフトウェア活動についても取り上げた。できるだけ当事者の生の声を紹介することで、on-going なオープンソース活動について情報提供することを狙った。表-1のとおり、忙しい中、多くの方々から記事をいただくことが

できた。ご紹介しきれなかった活動も多々あった。特に日本 OSS 貢献者賞受賞の方々からの記事が載せられなかったのは残念だった。紙面の都合ということでお許しいただければ幸いである。

果たしてこの連載は「それぞれの考えを尊重する」だったのだろうかそれとも「理念など考えない」だったのだろうか。読者のご判断にお任せすることで連載を終わらせた。

最後に寄稿者の方々および読者の方々に感謝いたします。

(平成 19 年 2 月 17 日受付)

